

備前長船刀剣博物館特別展

エヴァンゲリオンと日本刀展

△三上貞直刀匠「ロンギヌスの槍」部分

近年、全国的に美術館、博物館などで文化遺産と現代文化（漫画やアニメなど）を融合した特別展示が盛んに行われています。

備前長船刀剣博物館では、劇場版アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」に注目し、7月14日（土）から9月17日（月・祝）まで特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」を開催します。

仮想の世界と現実の歴史をつなぐ特別展示は、昨年度の特別展に続いて2回目の開催です。アニメのファンだけでなく、多くの皆さんの来場をお待ちしています。



「ロンギヌスの槍」(イラスト中央) / 「エヴァンゲリオン初号機」(イラスト右下) ©khara illustration:Ikuto Yamashita

『エヴァンゲリオン新劇場版』とは

平成7年10月から平成8年3月にかけて、SFテレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』が放映されました。若者を中心に爆発的な人気を博し、その後の物語を描いた劇場版アニメも公開されました。

また、ゲームやコミックなどさまざまなメディアで複合的に物語は展開されてきました。

現在は、テレビアニメ版の物語・概念を解体・再構築した劇場版アニメ『エヴァンゲリオン新劇場版』

4部作が展開されており、今秋に第3作目「Q」が公開予定です。

伝統の技を駆使した作品の数々

この特別展の開催に合わせて、同アニメからインスピレーション（ひらめき）を受けた刀匠らが、伝統の技を駆使して刀剣を製作しました。

これは、日本刀製作における伝統や掟の解体と再構築を目指したものであり、様式を重んじる刀剣界が現代デザインをもとに「エヴァンゲリオン仕様」の日本刀を製作し、世に問う初めての試みで

す。本展では、これらの製作工程もご紹介します。

『エヴァンゲリオン新劇場版』には、柄が二重らせん構造で先端の刃先が二つに分かれた巨大な「ロンギヌスの槍」が登場し、物語進行の鍵となっています。

この武器のイメージをもとに、刀匠が製作した「ロンギヌスの槍」（全長3.3m）を展示します。

また別話には、「ビゼンオサフネ」「マゴロクソード」という武器が登場します。

これを備前長船と関鍛冶の孫六を題材にしたものと解して、「ビゼンオサフネ」「マゴロクソード」を製作・展示するとともに、古

ら今に伝わる備前長船の名刀、関の孫六の名刀を展示します。

この他、同アニメの登場人物などをイメージし彫刻を施した短刀4口、面頬（顔面を守る防具）、兜なども含めて、合計18点の「エヴァンゲリオン仕様」の武器・武具を展示します。

また関連の古作の日本刀などの武器・武具の名品を展示し、刀剣ファンにも見応えがある内容となっています。

期間中のイベントなど

特別展の期間中に行う各種イベントの一部を紹介します。詳細は、

備前長船刀剣博物館のホームページをご覧ください。

・甲冑着付け体験 7月29日（日）、8月26日（日）それぞれ午前10時～午後3時（予約不要・時間内先着順）

・日本刀の見方・初心者講座 8月5日（日）、12日（日）、19日（日）それぞれ午後1～3時（要予約、先着15名）

※特別展オリジナルグッズなど約800点のエヴァンゲリオン関連グッズの販売も行う予定です。（入館料不要）

※特別展オリジナルクリアファイルをプレゼントします。（有料入館者のみ、数量限定）

▽特別展期間 7月14日（土）～9月17日（月・祝）

※期間中は無休です。

▽開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

▽入館料 大人700円、高・大学生500円、小・中学生200円

※団体料金や各種割引は適用されません。

※未就学児、障害者手帳を持参した人と付き添いの人（1人まで）は無料で入館できます。

■問い合わせ・予約先

備前長船刀剣博物館

☎0869・66・7767

HP <http://www.city.setouchi.jp/~osa-token/>

展示予定の新作（一部）



△プログレッシブナイフ（剣型）



△3式号機仕様筑紫雑刀風曲刀



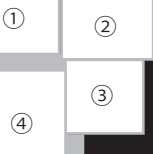
△零号機仕様小脇指刀身（製作途中）



△3式号機仕様外装（製作途中）

製作工程

作品の製作工程の一部を表紙や下の写真でご紹介します。



- 表紙① 地鉄を作りだす卸鉄
- 表紙② 「カウンターソード」火造り
- 表紙③ 「零号機仕様小脇指」刀身製作
- 表紙④ 「ビゼンオサフネ」研ぎ

▽「零号機仕様小脇指」柄巻

